

令和6年度入学試験問題（前期日程）

小論文

中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 社会科専攻 解答例（あるいは出題の意図）

本専攻における小論文では、課題文を理解する力、それに基づいて考える力、考えたことを論理的に構成して論述する力、その際の表現力・記述力などを見ることを意図している

〔1〕

（問1）【出題の意図】日本国憲法を尊重し擁護する義務を負っている「名宛て人」とは、具体的にはどのような人々を指すのかを、それを示している第99条に空欄を設けて解答させる。第1番目の問題文では、「国家と憲法は、氾濫するおそれのある川と、護岸工事をした岸の堤防のような関係です」とあるが、その「氾濫するおそれのある川」が、上記の空欄にあてはまる人々であるということを理解させることを意図とするものである。

【解答例】ア 天皇 イ 国務大臣 ウ 議員 エ 裁判官

（問2）【出題の意図】将来、憲法や法の教育の担い手になるであろう受験生に、教えるたち側の立場の目線で、「そもそも憲法とは何を目的にする法なのだろう、憲法をどのように教えたらいのか、課題はどこにあるのか」を、問題文を参考にして、論述させることを意図する。

【解答例】小論文である以上、様々な解答が予想されるが、問題文中にある、「聴覚や視覚に訴える授業」、「固定した飾りのようなものではなく“使いこなすもの”として憲法を捉え」る、「身近なケースで 法的思考をまなぶ」、及び「解決の過程重視」といったことがらを念頭に置いた解答であることが望ましい。